

目次 新訂2版 わかりやすい就業規則の作り方

はじめに

第1編 就業規則の予備知識 1
第1章 就業規則の意義と効果 2
■1 就業規則とは何か 2
■2 就業規則の役割・効果 2
■3 就業規則の作成義務 2
■4 就業規則の適用範囲 3
第2章 就業規則の内容 4
■1 絶対的必要記載事項 4
■2 相対的必要記載事項 5
■3 任意記載事項 6
■4 就業規則の効力 7
第3章 就業規則作成(変更)の手続 8
■1 労働条件等の実情把握と経営方針 8
■2 労働者の意見聴取 8
■3 行政官庁への届け出 9
第4章 就業規則の周知と運用 10
■1 周知の具体的方法 10
■2 周知と労働条件の明示 10
■3 就業規則運用の留意点 11

第2編 就業規則(例)とその解説 13

第1章 総則 14
第1条 目的 14
第2条 適用範囲 14
第3条 規則の遵守 14
第2章 採用、異動等 16
第4条 採用手続 16
第5条 採用時の提出書類 20
第6条 試用期間 20
第7条 労働条件の明示 22
第8条 人事異動 24
第9条 休職 24
第3章 服務規律 26
第10条 服務 26
第11条 遵守事項 26
第12条 セクシュアルハラスメントの禁止 26
第13条 出退勤 26
第14条 遅刻、早退、欠勤等 28
第4章 労働時間、休憩及び休日 30
〔例1〕 完全週休2日制を採用する場合の規定例 30
第15条 労働時間及び休憩時間 30
第16条 休日 32
〔例2〕 隔週週休2日制を採用する場合の規定例 34
第15条 労働時間及び休憩時間 34
第16条 休日 34
〔例3〕 国民の祝日等を活用して4週6休制とする場合の規定例 38
第15条 労働時間及び休憩時間 38
第16条 休日 38
〔例4〕 繁忙期と閑散期がある場合の規定例 40

第15条 1年単位の変形労働時間制の適用を受ける従業員の労働時間及び休憩時間 40
第16条 1年単位の変形労働時間制の適用を受ける従業員の休日 42
〔例5〕 専門業務型裁量労働制を採用する場合の規定例 44
第100条 専門業務型裁量労働制 44
〔例6〕 企画業務型裁量労働制を採用する場合の規定例 46
第100条 企画業務型裁量労働制 46
第17条 時間外及び休日労働等 50
第5章 休暇等 56
第18条 年次有給休暇 56
第19条 産前産後の休業等 60
第20条 母性健康管理のための休暇等 60
第21条 育児時間等 62
第22条 育児休業等 62
第23条 介護休業等 64
第24条 子の看護休暇 66
第25条 出向休暇 66
第6章 賃金 68
第26条 賃金の構成 68
第27条 基本給 68
第28条 家族手当 70
第29条 通勤手当 70
第30条 役付手当 70
第31条 精替勤手当 72
第32条 削増賃金 72
〔参考〕 1年単位の変形労働時間制に関する賃金の清算 74
第33条 休暇等の賃金 76
第34条 欠勤等の扱い 78
第35条 賃金の計算期間及び支払日 78
第36条 賃金の支払いと控除 80
第37条 昇給 80
第38条 賞与 82

第7章 定年、退職及び解雇 84

第39条 定年等 84
第40条 退職 88
第41条 普通解雇 90
第8章 退職金 94
第42条 退職金の支給 94
第43条 退職金の額 94
第44条 退職金の支払方法及び支払時期 96
第9章 安全衛生及び災害補償 98
〔例1〕 基本的な事項について定める場合の例 98
第45条 遵守義務 98
〔例2〕 会社の業務内容、作業実態に沿った具体的な定めをする場合の例 98
第45条 遵守義務 98
第46条 健康診断 100
第47条 安全衛生教育 100
第48条 災害補償 100
第10章 教育訓練 102
第49条 教育訓練 102
第11章 表彰及び懲戒 104

第50条 表彰 104
第51条 懲戒の種類 104
第52条 懲戒の事由 106
附則 108

第3編 参考資料 111

その1 各種規定・労使協定・様式記入例 112
① 就業規則(変更)届の例 112
② 意見書の例 113